



《こども版》 としょかんだより No. 334

2012年

# わくわく本だな

## 6月号

富山市立図書館

### 今月のおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

—あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします—

### 「もうどう犬リーとわんぱく犬サン」 (えほん)

郡司 ななえ / 作 PHP研究所



もうどう犬のリーは、電車でんしゃにのってお母さんのお手伝いをします。わんぱく犬のサンは、お母さんがかいものみせをしているあいだ、お店のそとでまちます。じゅぎょうさんかん日、リーはお母さんと学校にいりますが、サンはおるすばん。リーとサン、どこがちがうの？

### 「とっておきのはいく」 ★ 村上 しいこ / 作 PHP研究所

五、七、五のリズムで“はいく”をつくるしゅくだいを出されたつよし。いえにかえっておばあちゃんにきくと、「じっくりかんさつすることからはじめるんやな」だって。さっそくつぎの日から、かぞくのみんなをかんさつして、はいくをつくってみました。



### 「おめでたこぶた その1 四ひきのこぶたとアナグマのお話」 ★★

アリソン・アトリー / 作 福音館書店



森のはじっこで、四ひきのこぶたがアナグマのブロックさんとしあわせにくらしています。ある日、ブロックさんがいない日、オオカミがやってきました。こぶたをたべようほうほうとねらっているのです。こぶたたちは、やっつける方法をそうだんしました。

# あたらしくはいった本

## えほん

「さんすううちゅうじんあらわる！」 かわばた ひろと／作 講談社

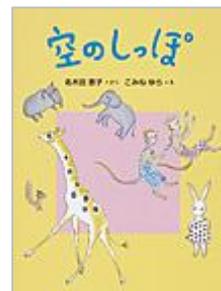


ガンバル小学校に、うちゅうじんがやってきました。「ちきゅうにある“すごいさんすう”をみせないと、ちきゅうをたべてしまう」というのです。さがしてみたら、サッカー、おんがく、ねんどの工作<sup>こうさく</sup>など、学校の中にたくさんさんすうがみつかりました。

## ものがたり

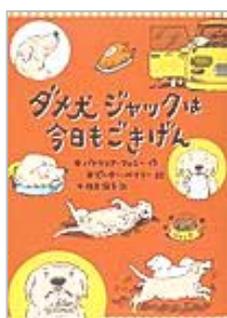
「空のしっぽ」 ★ 名木田 恵子／作 佼成出版社

空から一本のしっぽがさがっています。キリンくんとりすちやんがどンドンひっぽると、たくさんのけいとになったので、マフラーをつくりました。けんかしたさるのきょうだいや、まいごになっていないいたうさぎも、空のしっぽのおかげでえがおになりました。



「ダメ犬ジャックは今日もごきげん」 ★★

パトリシア・フィニー／作 徳間書店



ジャックは、かい主からは「あんぽんたん」と言われる、気ままに食べることが大スキな犬です。ある日、女の子の犬、ペトラがとりに引っこしてきました。すぐに夢中<sup>むちゅう</sup>になったジャックは、かわいいペトラを守ろうとはりきります。

「トモダチックリの守り人」 ★★ 吉富 多美／作 金の星社

タケルは、となりの席<sup>せき</sup>の子がいじめられていても知らんぷりし、友だちが大きなカラスにおそわれても、先ににげ帰ってしまう子でした。そんなタケルが、森で、不思議な少女、ノンや森の妖精<sup>ようせい</sup>チックリに出会い、友だちの気持ちを考えることの大切さを知ります。



## ものがたり

「公平、いっばつ逆転！」 ★★★ 福田 隆浩／作 偕成社



公平は、気が弱くてスポーツもにがてです。ところが、転校した小学校では、空手の達人でけんかつ早い、とごかいされてしまいました。おどろく公平にクラスの委員長が、校内の不良グループに立ち向かう、という計画をうちあげました。

「盗まれたおとぎ話 少年探偵家トム①」 ★★★

イアン・ベック／作 静山社

トゥルーハート一家は、おとぎ話にふさわしい結末をつけるために冒険の旅に出るのが仕事です。ある冬、六人の兄さんが、王子役で旅に出かけたきりもどってこなくなり、おとぎ話がおわらなくなってしまいました。末っ子のトムは、兄さんたちをさがしに、はじめて冒険に旅立ちます。



## ちしきの本

「それ日本と逆！？ 文化のちがひ習慣のちがひ ① モグモグ食事のマナー」

須藤 健一／監修 学研

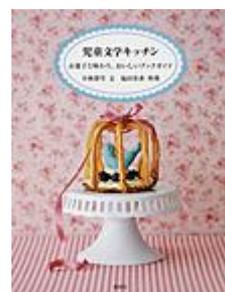


日本では、茶わんをもたずに食べると、「ぎょうぎがわるい」と言われます。ところが韓国では、テーブルにおいたまま食べることがれいぎなのです。ほかにも、立ったまま食べたり手で食べたり、日本とはちがう世界の食事のマナーを知ることができます。

「児童文学キッチン お菓子と味わう、おいしいブックガイド」

小林 深雪／文 講談社

『くまのプーさん』に出てきた“もも色おさとうケーキ”や、『エルマーのぼうけん』の“ぼうつきキャンデー”。物語に登場したお菓子の作り方が紹介されています。作者の小林さんが書いた『泣いちゃいそうだよ』シリーズのパフェものっていますよ。



# こんげつのとくしゅう

## 植物の本

梅雨の季節。植物にはめぐみの雨です。公園や学校のまわりで、みんなはどんな植物を目にしますか。

### 「あさがお」 (えほん) 荒井 真紀／作 金の星社

あさがおのたねからめが出て、つるがのび、花がさいて、また、たねをうえるまでのようすを、うつくしい色でえがいたえほんです。



### 「みどりいろのたね」 ★ たかどの ほうこ／作 福音館書店

まあちゃんはたねといっしょに、みどりいろのあめだまも地面にうえました。

### 「花仙人 中国の昔話」 ★★ 松岡 享子／文 福音館書店

秋先という、花が大好きな老人がいました。ある日、都から悪い男たちがやってきて、秋先が庭で大切に育てていた花を、折ってしまいました。

### 「花の工作図鑑」 (ちしきの本) 岩藤 しおい／作 いかだ社

身近な草花を使って、リースやおし花を作ったり、花ぞめをしてみましよう。

## シリーズしょうかい



### 「つくってあそぼう」シリーズ 全35冊 (ちしきの本) 農山漁村文化協会

食べ物は、いつ、どこで生まれて食べられるようになったのでしょうか？実際の作り方やそれぞれの食べ物の歴史や種類が紹介されている、見て学べるシリーズです。

#### 「なっとうの絵本」

わたなべ すぎお／へん

ごはんにかけて食べるとおいしいなっとう。大豆となっとう菌をワラに入れて作ります。おいしいなっとうを使った料理ものっています。

#### 「アイスクリームの本」

みやち ひろひと／へん

アイスクリームは、牛乳をマイナスの温度にして作ります。いろいろなアイスクリーム作りにチャレンジしてみましよう。

#### 「すしの絵本」

ひびの てるとし／へん

おすしを食べるのはどんな時ですか？日本各地のいろいろなおすしや、ちらしずしやにぎりずしなどの作り方がいっぱい！

< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7273